

令和2年度 第1回富山支部評議会の概要報告（速報）

開催日	令和2年7月15日（水）10：00～12：00
会場	瑠璃の間（ゴルフアートとやま 4F）
議題	<p>(1) 令和元年度の決算報告について</p> <p>(2) 令和元年度の事業報告について</p> <p>(3) 支部保険者機能強化予算の検討について</p> <p>(4) その他</p>
出席者	<p>評議員</p> <p>学識経験者：中村評議員（議長）、松原評議員、泉評議員</p> <p>事業主代表：廣瀬評議員、若林評議員、藤井評議員</p> <p>被保険者代表：河口評議員、川津評議員</p>
報告概要 (主な意見等)	<p>事務局より各議題について資料により説明。主な意見等は下記のとおりです。</p> <p>議題1. 令和元年度の決算報告について</p> <p>資料 1-1 協会けんぽの令和元年度決算見込み（医療分）について</p> <p>資料 1-2 令和元年度全国健康保険協会（健康保険）決算報告書の概要等</p> <p>資料 1-3 令和元年度支部別収支（暫定版）</p> <p>（議長）</p> <p>令和2年4月以降、受診を控える傾向にあったようだが、短期的なものと考えてよいか。</p> <p>（事務局）</p> <p>現時点で確認できる4月までのレセプトにおいては受診抑制の傾向がみられたが、この傾向が短期的なものなのか見通しを立てることは難しい。</p> <p>議題2. 令和元年度の事業報告について</p> <p>資料 2 令和元年度富山支部事業報告書</p> <p>参考資料 1 令和元年度富山支部事業計画実施結果</p> <p>参考資料 2 令和2年度富山支部事業計画実施目標</p>

(事業主代表)

インセンティブ制度の5つの評価指標のうち、4つは重要業績評価指標であり目標を達成したとのことだが、残り1つの評価指標はなにか。

(事務局)

特定保健指導対象者の減少率もインセンティブ制度の評価指標の一つだが、単年度で評価できる指標ではないため、重要業績評価指標にはない。

(被保険者代表)

重要業績評価指標について未達成のものがあるが、最終的なKGIについてはどう考えているか。また、未達成の要因については、目標設定に無理があるのか、担当者の能力に起因するものなのかを検討し、改善していただきたい。

(事務局)

保険者機能強化アクションプラン（第4期）において、分野ごとの具体的な取り組みを定めるとともに、3年後のKPIを設定しており、事業計画はアクションプランのKPIを達成するための目標を単年度ごとに定めている。また、目標については原則、前年を上回る目標を定めている。

(議長)

KPIは組織としての目標を達成するための指標であり、各項目の達成状況について誰が責任を持ち、誰が管理しコントロールするのかを明確にすることが大切である。また、各項目の達成状況については、担当している職員の評価にリンクしているべきである。

KPIについて、原則前年を上回る目標を定めるとのことだが、職員の努力により達成が可能な水準のKPIが定められているのか、また、本質から外れていないかなど、全国レベルの意見交換の機会があれば、支部の実情等を伝えたいので検討していただきたい。

(被保険者代表)

4月はコロナウイルスの関係で健診を控える事業所が多いようだが、特定健診の受診率に影響はあるか。

(事務局)

健診を控えている事業所が多数あることや、健診機関が健診を中止していることもあり、受診率への影響はあると思われる。ただし、7月以降はほぼ全ての健診機関が健診を再開しており、事業所でも春に予定していた健診を秋に延期し、これから実施する事業所も多数ある。

(学識経験者)

オンライン資格確認システムについて、今後も普及させていく予定はあるか。

(事務局)

令和3年3月より、マイナンバーカードによるオンライン資格確認システムの導入が予定されていることから、協会けんぽが実施するオンライン資格確認システムについては、令和3年2月で終了する予定。

議題3. 支部保険者機能強化予算の検討について

資料3 支部保険者機能強化予算の検討について

参考資料3 令和元年度支部保険者機能強化予算の実施結果

参考資料4 令和2年度富山支部保険者機能強化予算

(事業主代表)

健診機関に対し、生活習慣病予防健診の実施件数、事業者健診データの提供件数、特定保健指導の終了者数が目標値を上回った際に、報奨金を支給したとのことだが、対象の健診機関数はどれくらいだったのか。また、インセンティブ制度の評価指標のうち、全国順位で低位にある評価指標の順位を向上させるための予算の使い方を検討していただきたい。

(事務局)

報奨金制度について目標値を上回った健診機関は、生活習慣病予防健診については32機関中16機関、事業者健診データの提供については25機関中4機関、特定保健指導の終了者数については25機関中5機関。

インセンティブ制度の評価指標のうち、低位にあるジェネリック医薬品の使用割合については、医療機関に対しジェネリック医薬品の使用割合に関する通知の送付や、訪問の上改善要請をしている。また、特定保健指導対象者の減少率については、保健指導の質を向上させるため、保健師は人材育成計画に基づき知識等の向上に努めている。その他にどのような取り組みがあるか検討していきたい。

(学識経験者)

富山県民は運動習慣や睡眠習慣が全国ワースト1位であることや、生活習慣の改善が必要であることをこれまで以上に広報し、県民の方々に健全な危機感を持たせるようにしていただきたい。

(事務局)

昨年ニュースリリースし、富山県民の運動習慣や睡眠習慣が全国ワースト1位であることが北日本新聞の一面に掲載されている。今後も健全な危機感を持っていただくため、広報活動に力をいれたい。

(議長)

運動習慣や睡眠習慣が全国ワースト1位であることが、その他の様々なパフォーマンスの低下につながっていると考えられるため、改善に向けた仕掛けに予算を使い、効果的な取り組みを検討していただきたい。また、昨年度の実施結果について、予算を使った結果、アウトカムとしてどんな効果があったかまで明確に示してあり、説明を受けていて理解しやすいため、次年度も続けていただきたい。

保険者機能強化予算については、長期構造的な政策に対応していくものだが、事業所ではコロナウイルスの影響への対応が目下の課題であるため、そのことに協会けんぽとしてどんな対策を取るのか関心を持たれている。今後、全国レベルで短期的な対策を講じることも考えられるため、富山支部としても適切な対応をしていただきたい。

(事業主代表)

運動習慣や睡眠習慣が全国ワースト1位とのことだが、富山県民の健康寿命は、男性8位、女性4位であり矛盾を感じる。また、健康保険制度の目的は、国民の生活安定と福祉の向上に寄与することであり、保険料率を下げることだけではないため、今後も広い視野を持ち、様々な取り組みを検討していただきたい。

(事務局)

健康寿命の延伸は、医療費や介護費の抑制につながることから、運動習慣や睡眠習慣の改善は、取り組むべき課題の1つとして考えている。

健康寿命の調査は3年ごとに実施されており、直近では2016年度のデータが示されているが、現状の健康寿命は未だ示されていない。また、富山県は、自覚症状なく進行する糖尿病による死亡率が全国の中で上位であり、自己申告による回答の結果である健康寿命調査と実態が相違する点があることも考えられる。

インセンティブ制度の結果、特定保健指導対象者の減少率は45位と低位であることから、リスクを抱えた方は相当数いると思われる。

(議長)

健康寿命は考え方として理解しやすく、人の関心を引く指標であるため、上手く活用しながら県民の意識の啓発を図る取り組みをしていただきたい。

議題4. その他

資料4 医療提供体制への働きかけについて(報告)

質疑なし

以上

特記事項

・傍聴者なし。

次回 令和2年10月に開催予定